



2016年3月期決算説明会

2016年5月25日

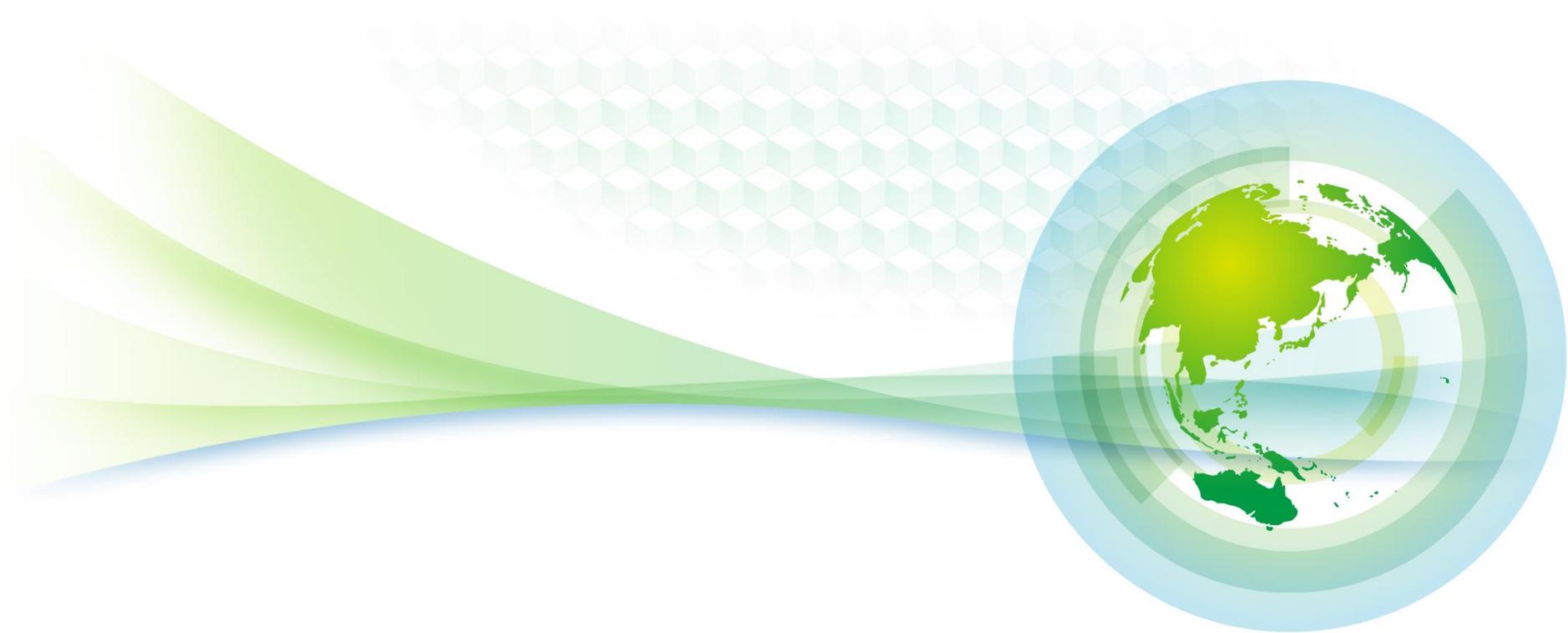
目次



I .会社概要

II .2016年3月期決算の概要

III .2017年3月期業績予想



I. 会社概要

プロフィール



(2016年3月31日現在)

商号	日本カーバイド工業株式会社 (NIPPON CARBIDE INDUSTRIES CO.,INC.)
本社	東京都港区港南2丁目16番2号
設立	1935年10月
資本金	70億3405万5242円
発行済株式数	81,940,298株
連結従業員数	3,444名
事業内容	素材・材料メーカー

沿革



- 「カーバイド」を原料としたアセチレン誘導工業のパイオニアとして創業、昨年創立80周年を迎えた
- 化学工業の発展とともに事業再構築。コア技術である樹脂重合技術、フィルム・シート技術、焼成技術を軸に化成品、機能性樹脂、フィルム、反射シート、電子部材事業を展開

	事業展開	拠点展開	その他
創業～1930年代	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1935年にカーバイド製造を業とする日本カーバイド工業を設立 ■ 国産肥料㈱を合併、魚津工場操業開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本店を富山県に設置 	
1940年代～1960年代 自社技術の深化・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三和化学工業㈱設立(現㈱三和ケミカル)、「化学・医薬品製品」製造販売を開始 ■ 「メラミン樹脂製品」の製造・販売開始 ■ 「機能樹脂(粘接着剤)」の製造・販売開始 ■ ビニフレーム工業㈱設立、「建材関連」事業を開始 ■ 「包装材料」の製造・販売開始 ■ ダイヤモンドエンジニアリング㈱設立、「エンジニアリング」事業に参入 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本店を東京丸の内に移転(現本店は港区港南2-16-2) ■ 大阪駐在(現大阪支店)を設置 ■ 早月工場建設 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京証券取引所に上場 ■ 大阪証券取引所に上場
1970年代～1990年代 新規事業・海外展開の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「マーキングフィルム」の製造・販売開始 ■ ㈱北陸セラミックに資本参加、「電子材料(セラミック基板)」事業に進出 ■ タイにTHAI DECAL CO.,LTD設立、「ステッカー(デカル)」事業を開始 ■ タイにELECTRO-CERAMICS設立、「セラミック基板」製造を開始 ■ ㈱関東応化に資本参加(現エヌシーアイ電子㈱)、「プリント配線板」分野に参入 ■ ニッカポリマ㈱を設立、「再帰反射シート」事業に進出(現在はニッカポリマは解散) ■ 米国にNIPPAN CARBIDE INDUSTRIES(South Carolina)INC.を設立、「トナー用樹脂」事業を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■ インドネシアにPT ALVINY INDONESIAを設立、「ステッカー」及び「建材」事業を展開 ■ 中国に恩希愛(杭州)化工有限公司(現恩希愛(杭州)薄膜有限公司)を設立、「再帰反射シート」事業を展開 ■ ベトナムにNCI(VIETNAM)CO.LTD.を設立、「ステッカー」事業を展開 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 転換社債発行(50百万スイスフラン)
2000年代～現在 選択と集中		<ul style="list-style-type: none"> ■ インドにNIPPON CARBIDE INDIA PVT.LTD.を設立、「ステッカー」事業を展開 ■ ブラジルにNIPPON CARBIDE INDUSTRIA DO BRASIL LTDA.を設立し「ステッカー」事業を展開 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1,300万株公募増資

経営理念／NCIグループビジョン



経営理念

技術の深耕と融合で価値を創造し、社会の繁栄に貢献していくこと

NCIグループビジョン

私たちの使命

- 日本カーバイド工業(グループ)の特徴ある技術の深耕と融合で、価値ある製品を開発・製造・販売し、消費者の生活向上に資するとともに、お客様各社の発展に役立つことを通じて、社会の繁栄に貢献していくことを使命とします。

私たちの経営目標

- 『存在感のあるキラリと光る良い会社(グループ)』の実現
- 私たちの使命を実行し、小さくとも技術力と経営効率の高いキラリと光る会社・グループ
 - 各ステークホルダーに対して責任を果たして、信頼を得、存在感のある会社・グループ

経営方針

- 常に技術・事業・会社を進化させる。
- 成長分野への重点的資源配分とグローバル化を推進する。
- 公正な、かつ環境・安全を重視した事業活動を実践する。
- 基本に忠実な業務活動を実践する。

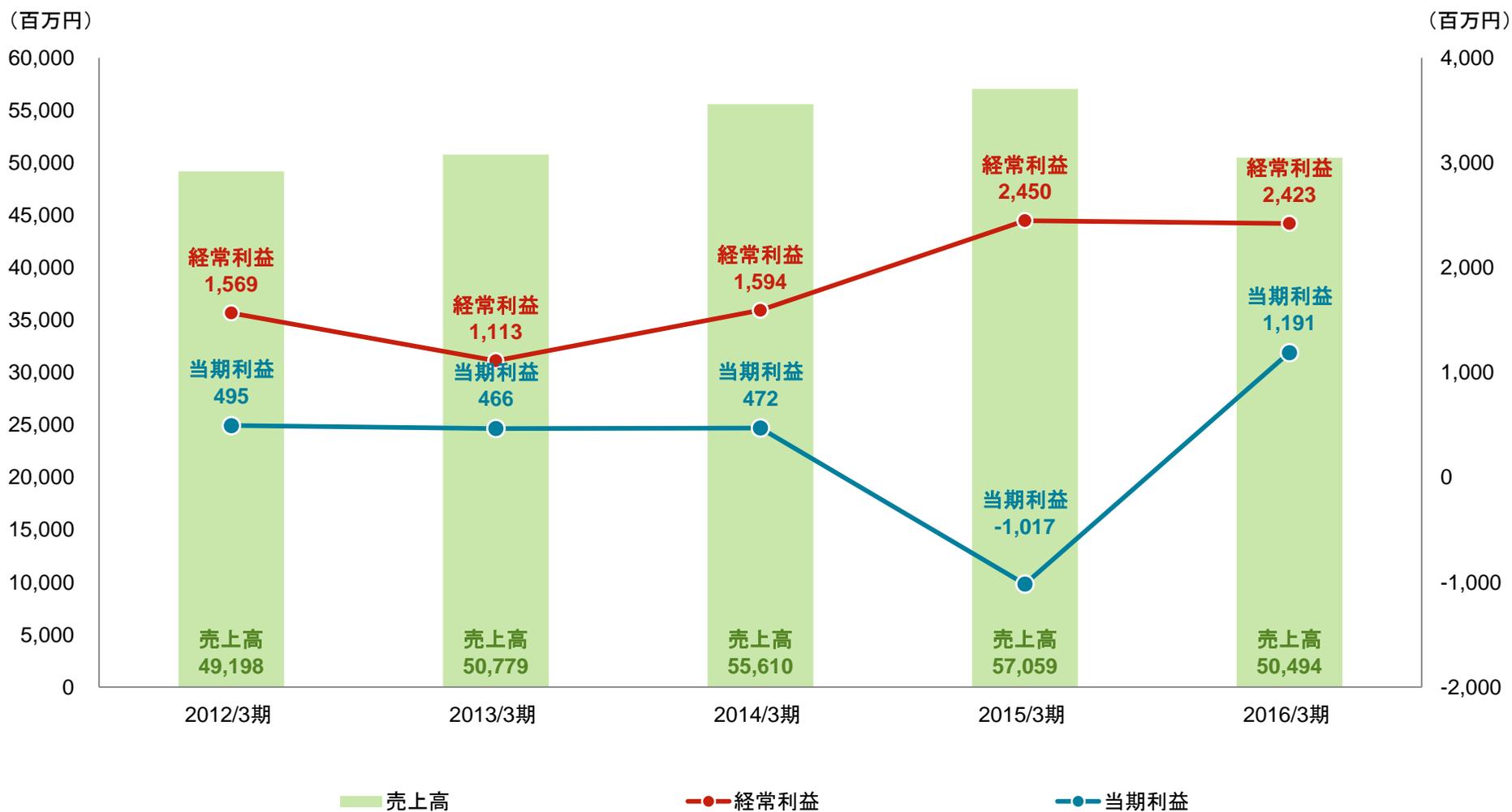
私たちの行動指針

- Sense of Urgency(状況変化や問題の察知と対策への結びつけ)
- Change(変化させる、一歩前進)
- Quick Response and Action(迅速な行動)
- Teamwork(コミュニケーションとベクトル合わせ)

業績の推移



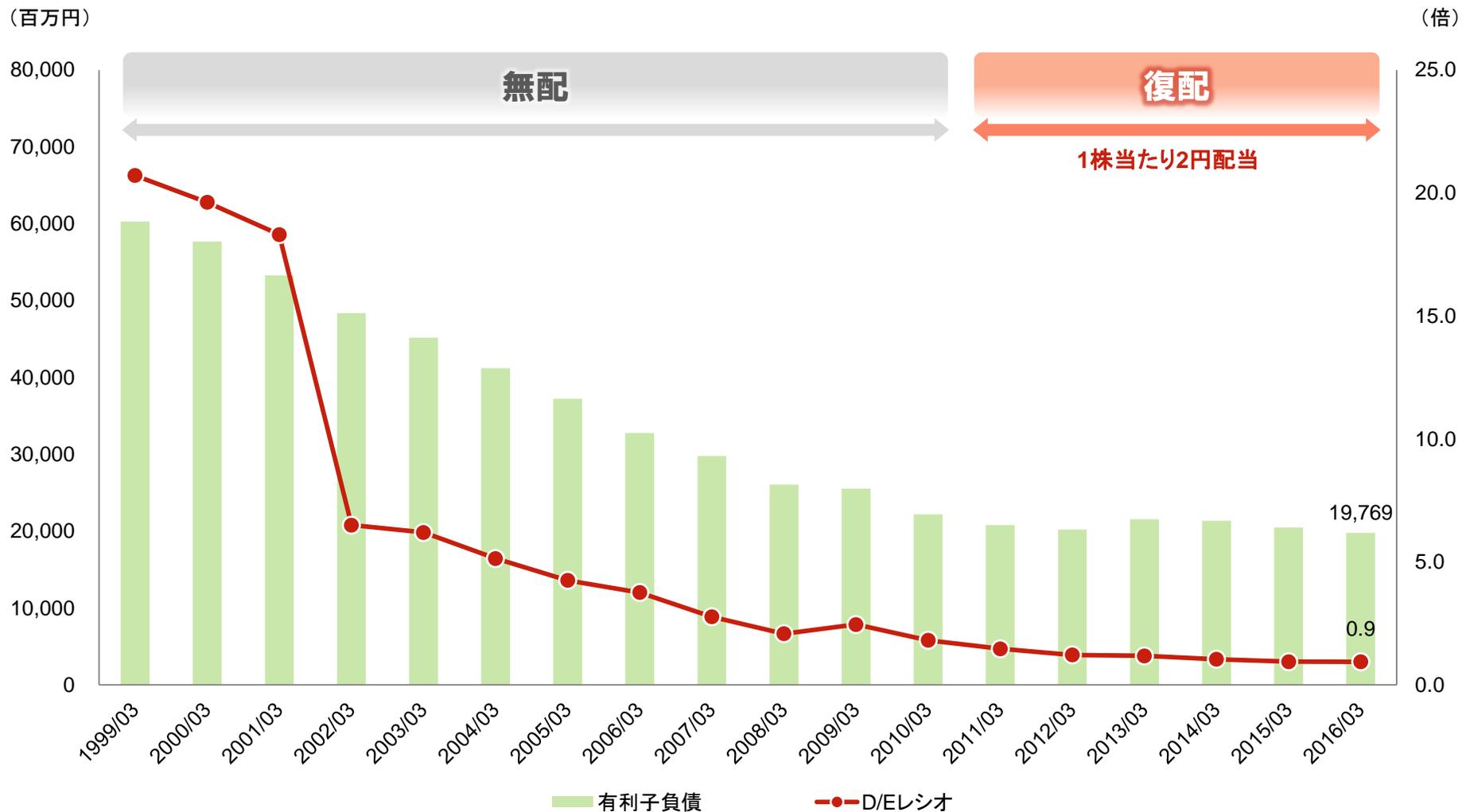
① 連結業績の推移(直近5期)



業績の推移



② 有利子負債及び配当の推移



セグメント概要



- 機能製品、建材関連、エンジニアリングは安定的に利益を生み出す
- 電子・光学製品は選択と集中により収益改善を目指している

(単位: 百万円)

セグメント	概要	売上高(16年3月期)	セグメント利益(16年3月期)
機能製品	■ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルム等の製造販売	23,381 (43.9%)	2,660
電子・光学製品	■再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板等の製造販売	12,355 (23.2%)	△622
建材関連	■住宅用アルミ建材等の製造販売	10,475 (19.6%)	366
エンジニアリング	■産業プラントの設計・施工等	7,103 (13.3%)	251

機能製品事業①



主要取扱製品	化学品(ファインケミカル製品)、成形材料(メラミン樹脂)	
製造・販売拠点	国内	当社、三和ケミカル
	海外	—
主な最終用途	医薬品、食器から半導体金型クリーニング材まで多用途のプラスチック製品	
特徴	化学品	カーバイドや石灰窒素といったコモディティ製品の製造から医農薬原料や電子材料用原料等のスペシャリティ製品の製造、更には医薬品原体の製造に事業を転換しています
	成形材料	軽くて丈夫、熱に強く着色しやすいといった優れた特性があり、食器から半導体金型クリーニング材まで多用途のプラスチック製品に使用されている成形材料であるメラミン樹脂を製造しています

当社の製品はこんなところに使われています

化学品

病院で使われる薬: 医薬品原体・中間体



原体、中間体として医薬品に幅広く用いられています。



果樹園: 植物成長調整剤



発芽を促進させて収穫を早めたり、収穫期間の短縮が期待できます。

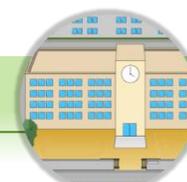


成形材料

学校・食堂で使われる食器: メラミン樹脂



メラミン樹脂の軽くて丈夫、耐熱、着色に優れた特性を活かし、食器などの用途で使われています。



半導体製造工場: 半導体封止材用金型クリーニング材



エポキシ樹脂成形材料を使用する際に生じる金型の汚れを除去するためのクリーニング材として使われています。



機能製品事業②



主要取扱製品	機能樹脂(接着製品)、ステッカー、マーキングフィルム、包装材料(食品用ラッピング)	
製造・販売拠点	国内	当社
	海外	アメリカ(サウスカロライナ)、タイ(サムットプラーカーン)、ベトナム、インドネシア、中国(杭州)、インド、ブラジル
主な最終用途	粘接着剤、二輪車・四輪車装飾シート状ステッカー、屋外看板、食品用ラッピング	
特徴	機能樹脂	高分子合成技術、樹脂重合技術が生み出すさまざまな機能樹脂である、さまざまな対象・環境に最適な粘接着剤を製造しています。一般ラベル用から医療、光学・電子材料向けなど幅広い用途に使用されています
	ステッカー	オートバイの製造時に車体表面に施される、耐候性を備えたシート状のグラフィック印刷製品を提供しています
	マーキングフィルム	屋外広告や車両に施されたデザインに多く使用されている貼る塗料といわれるマーキングフィルムを製造しています

当社の製品はこんなところに使われています

機能樹脂

テレビ:アクリル溶剤系樹脂溶液



光学向け粘・接着剤として偏光板(テレビ、モバイル、タブレットPC向けなど)に用いられています。



ステッカー

バイク:二輪車・四輪車装飾ステッカー3D Decals(3Dデカル)



東南アジアを中心に、オートバイの製造時に車体表面に使われています。ブランドの顔となる立体エンブレム部分には3Dデカルが使われています。

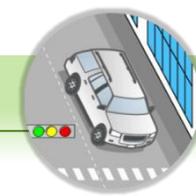


マーキングフィルム

自動車:レーザーマーキングラベル



レーザーマーキングラベルは、異なる色の二層フィルムラベル材料です。レーザー光線を用い、QRコード等の可変情報ラベルを必要なだけ作成することが可能です。優れた耐久性とセキュリティー性を兼ね備えたラベルです。



街中の看板・サイン:マーキングフィルム、アクリル溶剤系樹脂溶液



豊富なカラーと優れた対候性を備えたマーキングフィルムは、屋外広告・看板などに使われています。また、粘・接着剤として機能樹脂も使われています。



電子・光学製品事業



主要取扱製品	再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板	
製造・販売拠点	国内	当社、北陸セラミック、エヌシーアイ電子
	海外	中国(杭州)、アメリカ(カリフォルニア)、ドイツ、オランダ、フランス、スペイン、タイ(ランブーン)
主な最終用途	道路標識、ナンバープレート(CLP)、チップ抵抗器、LED照明、パソコン、アミューズメント機器	
特徴	再帰反射シート	道路標識や車両後部反射器に使用されている再帰反射シートを製造しています。封入レンズ型、カプセルレンズ型高輝度タイプ等、豊富なグレードを取り揃えています
	セラミック基板	アルミナセラミック基板は微小チップサイズ対応基板や多連チップ基板を提供、厚膜印刷基板は高耐熱性、高放熱性に高い信頼を得ています
	プリント配線板	電子機器の小型化、高性能化に必要な配線の高密度化を実現する基板、部品や基板の温度上昇を抑制する基板等の特徴ある製品を取り扱っています

当社の製品はこんなところに使われています

再帰反射シート

ナンバープレート(海外)/安全・保安用品(三角コーン)/工事看板



海外では車両のナンバープレートに再帰反射シートを使うことで視認性を高めています。また、再帰反射シートは安全・保安用品や工事看板にも使われています。

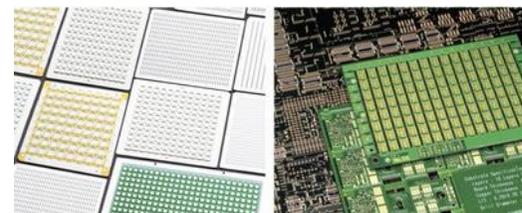
道路標識:再帰反射シート



再帰反射シートは光源方向からの視認性を高めるもので、道路標識に使われています。

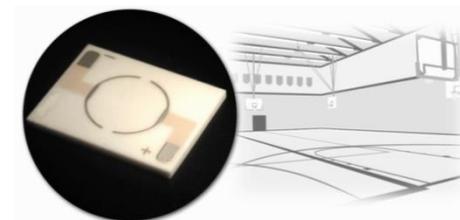
セラミック基板/プリント配線板

テレビ・パソコン・スマートフォン:プリント配線板・セラミック基板



チップ抵抗器やプリント配線板としてデジタル家電に広く使われています。

体育館の照明:LED用厚膜印刷基板



高輝度・高反射アルミナベース基板で、LED照明などに使われています。

建材関連事業／エンジニアリング事業



主要取扱製品	住宅・ビルアルミ建材、樹脂押出し製品	
製造・販売拠点	国内	ビニフレーム工業
	海外	インドネシア
主な最終用途	住宅・ビル用の手すりやカーポート、内装建材、電子機器包装	
特徴	高い技術に支えられた品質と洗練されたデザインの建材を提供し、各種環境配慮型製品の開発を通じて社会に貢献しています	

主要取扱製品	鉄鋼・化学・環境プラントの設計・施工	
製造・販売拠点	国内	ダイヤモンドエンジニアリング
	海外	中国(大連)
主な最終用途	製鉄プラント、化学・環境プラント	
特徴	長年培ってきた鉄鋼精錬と粉体ハンドリング技術を駆使して、より広く、産業界の多彩な分野へ事業を展開しています(特に連続粉体吹込技術は、石炭ガス化複合発電(IGCC)設備におけるガス化炉への微粉炭の吹込に応用されています)	

住宅・ビル建材



プラント



国内ネットワーク



主要国内15拠点(本社,支店1拠点,工場2拠点,製造所1拠点,研究所5拠点)、関係会社5社

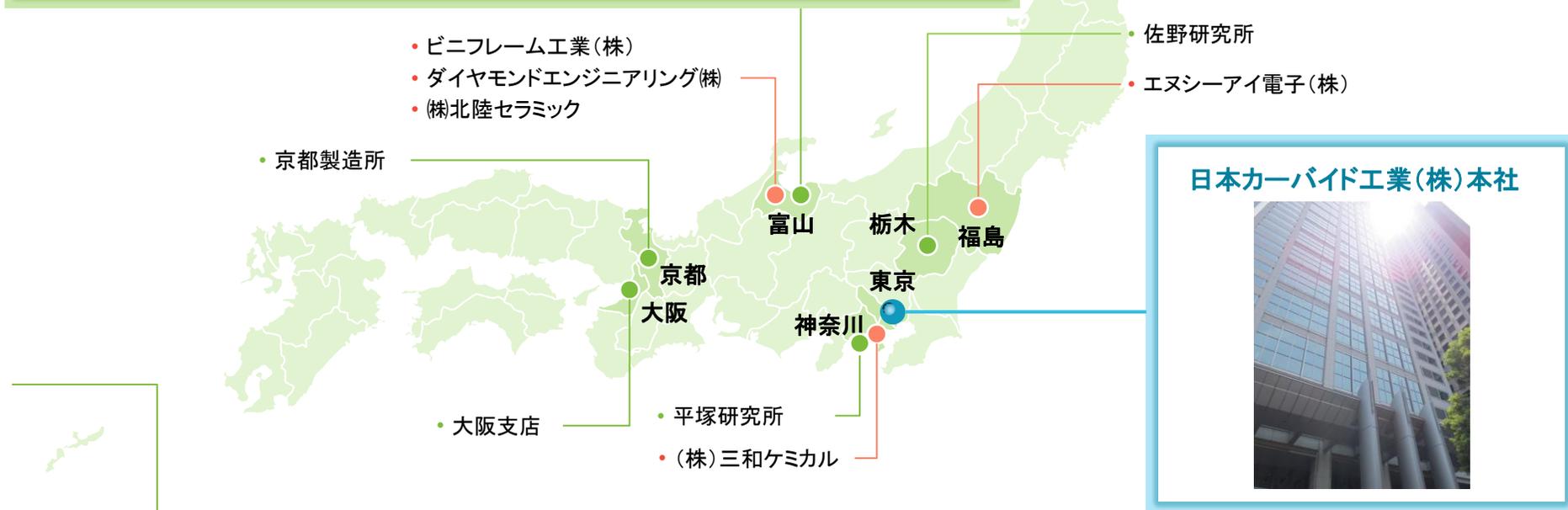
● 本社 ● 事業所(支店・工場・研究所・製造所) ● 関係会社



● 魚津工場
● 魚津研究所
● 早月工場
● 早月研究所
● 滑川研究所
● 研究開発センター
(早月工場内に10月竣工予定)



研究開発センター



● ビニフレーム工業(株)
● ダイヤモンドエンジニアリング(株)
● (株)北陸セラミック

● 京都製造所

● 富山

● 栃木

● 福島

● 佐野研究所

● エヌシーアイ電子(株)

● 京都

● 大阪

● 東京

● 神奈川

● 平塚研究所

● (株)三和ケミカル

● 大阪支店

日本カーバイド工業(株)本社



海外ネットワーク



主要海外8拠点

NIPPON CARBIDE INDIA PVT. LTD.



事業内容

各種ステッカーの印刷、製造、販売

恩希愛(杭州)薄膜有限公司



事業内容

再帰反射シート、食品包装用ラップフィルム、マーキングフィルムの販売及び各種ステッカーの印刷、製造、販売

NCI(VIETNAM) CO.,LTD.



事業内容

各種ステッカーの印刷、製造、販売

NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (South Carolina) INC.



事業内容

トナー用樹脂の製造、販売

THAI DECAL CO.,LTD.



事業内容

各種ステッカーの印刷、製造、販売

ELECTRO-CERAMICS (THAILAND) CO.,LTD.



事業内容

アルミナセラミック基板及び厚膜印刷基板の製造、販売

PT ALVINY INDONESIA



事業内容

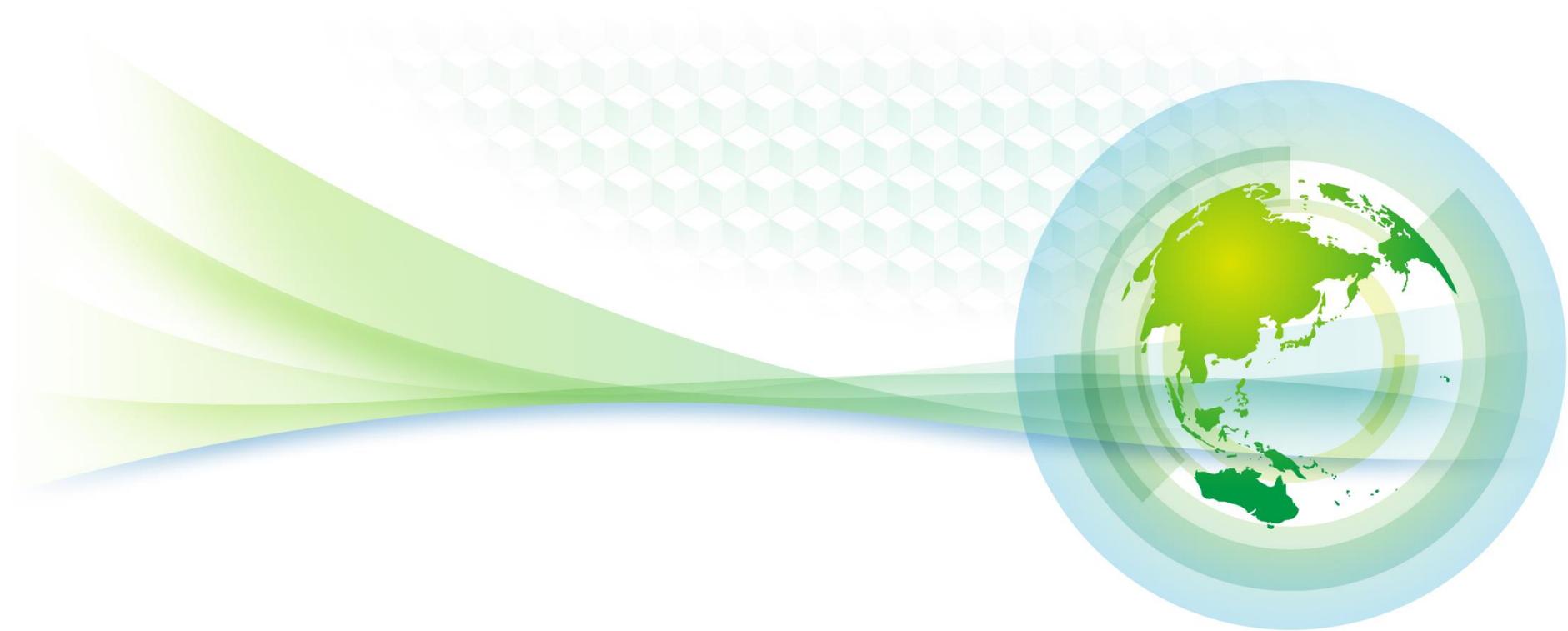
各種ステッカー、アルミ建材、樹脂製品の製造、販売

NIPPON CARBIDE INDUSTRIA DO BRASIL LTDA.



事業内容

各種ステッカーの印刷、製造、販売



II.2016年3月期決算の概要

2016年3月期決算サマリー



① 連結損益計算書

前期比 減収・経常減益も、当期利益は大幅改善

(単位: 百万円)

	15/3月期		16/3月期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	57,059	-	50,494	-	-6,565	-11.5%
売上原価	43,228	75.8	37,414	74.1	-5,814	-13.4%
販売費及び一般管理費	11,567	20.3	10,844	21.5	-723	-6.3%
営業利益	2,263	4.0	2,235	4.4	-28	-1.2%
経常利益	2,450	4.3	2,423	4.8	-27	-1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,017	(1.8)	1,191	2.4	2,208	-
1株当たり当期純利益	-12.43円	-	14.55円	-	26.98円	-

セグメント別の状況



① 機能製品

(単位:百万円)

	15/3月期	16/3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	25,138	23,381	-1,756	-7.0%
セグメント利益	2,281	2,660	380	16.6%

- ファインケミカル製品は順調に推移したものの、その他製品は国内向け中心に伸び悩み、売上高は前期比 7.0%減、一方、セグメント利益は原材料価格低下や生産性向上、経費削減等により前期比 16.6%増
 - ファインケミカル製品は農薬関連や電子材料向けが順調に推移
 - メラミン樹脂製品は海外向けは堅調、国内向けは低調
 - 接着製品は医薬・化粧品分野へ拡販したものの、光学関連分野向けは伸び悩み
 - マーキングフィルムは海外向け堅調、国内向けが伸び悩み
 - ステッカーは東南アジアの二輪車市場低迷の影響で減販、新製品は順調に拡大
 - 包装用フィルムは中国へ製造移管し、事業展開

セグメント別の状況



② 電子・光学製品

(単位:百万円)

	15/3月期	16/3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	15,117	12,355	-2,762	-18.3%
セグメント利益	-73	-622	-549	—

- 需要の減退に伴う減収。総じて振るわず、売上高は前期比 18.3%減
⇒ 選択と集中へ
 - 再帰反射シートは欧州向けが伸び悩み
 - セラミック基板はチップ抵抗器向けが年度後半軟調に推移、また、LED照明用厚膜印刷基板は大幅な需要減で収益悪化
 - プリント配線板はアミューズメント関連をはじめ総じて不振

セグメント別の状況



③ 建材関連

(単位:百万円)

	15/3月期	16/3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	10,736	10,475	-261	-2.4%
セグメント利益	423	366	-57	-13.5%

- 主力の手摺、笠木等への消費増税による需要増が一巡し、売上高は前期比 2.4%減
- ただし、主力製品の売上は堅調

セグメント別の状況



④ エンジニアリング

(単位:百万円)

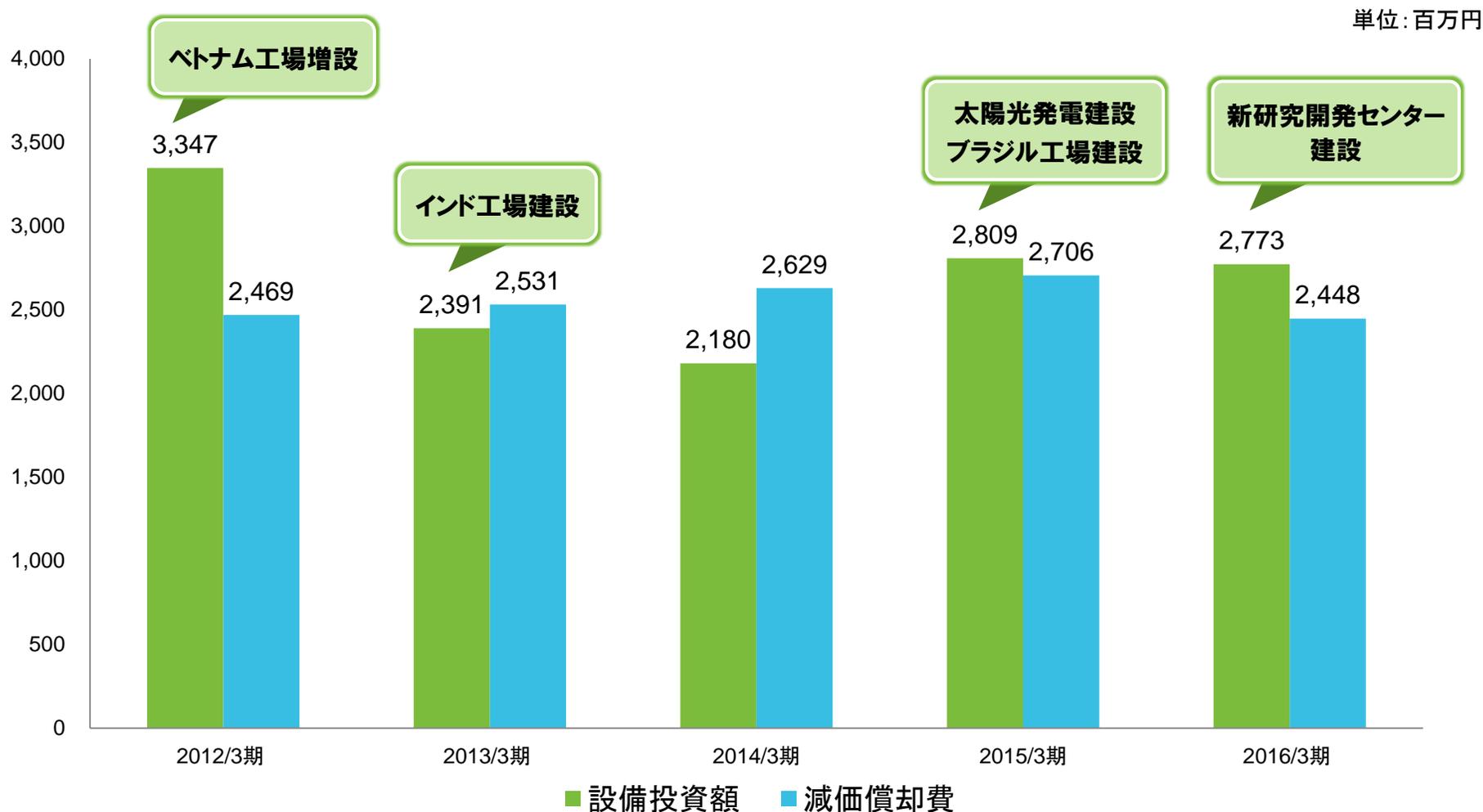
	15/3月期	16/3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	7,500	7,103	-396	-5.3%
セグメント利益	235	251	15	6.8%

- 国内外向け大型案件の完工の減少により、売上高は5.3%減なるも、利益は横ばい
- 酸素吹石炭ガス化複合発電(IGCC)は発表どおり2017年3月より実証試験開始予定

設備投資の状況



2016年3月期の設備投資の主なものは新研究開発センターの建設



連結貸借対照表



- 16/3月期末の自己資本比率は34.5%(15/3月期末34.2%)

(単位:百万円)

	15/3月期		16/3月期		前期比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	31,629	50.0	30,193	49.6	-1,436
固定資産	31,665	50.0	30,694	50.4	-971
有形固定資産	26,455	41.8	26,898	44.2	443
無形固定資産	610	1.0	571	0.9	-39
投資その他の資産	4,599	7.3	3,224	5.3	-1,375
資産合計	63,294	100.0	60,887	100.0	-2,407
流動負債	27,075	42.8	24,287	39.9	-2,788
固定負債	13,539	21.4	14,566	23.9	1,027
負債合計	40,614	64.2	38,853	63.8	-1,761
株主資本	12,900	20.4	13,582	22.3	682
その他の包括利益累計額	8,772	13.9	7,453	12.2	-1,319
非支配株主持分	1,006	1.6	998	1.6	-8
純資産合計	22,679	35.8	22,034	36.2	-645

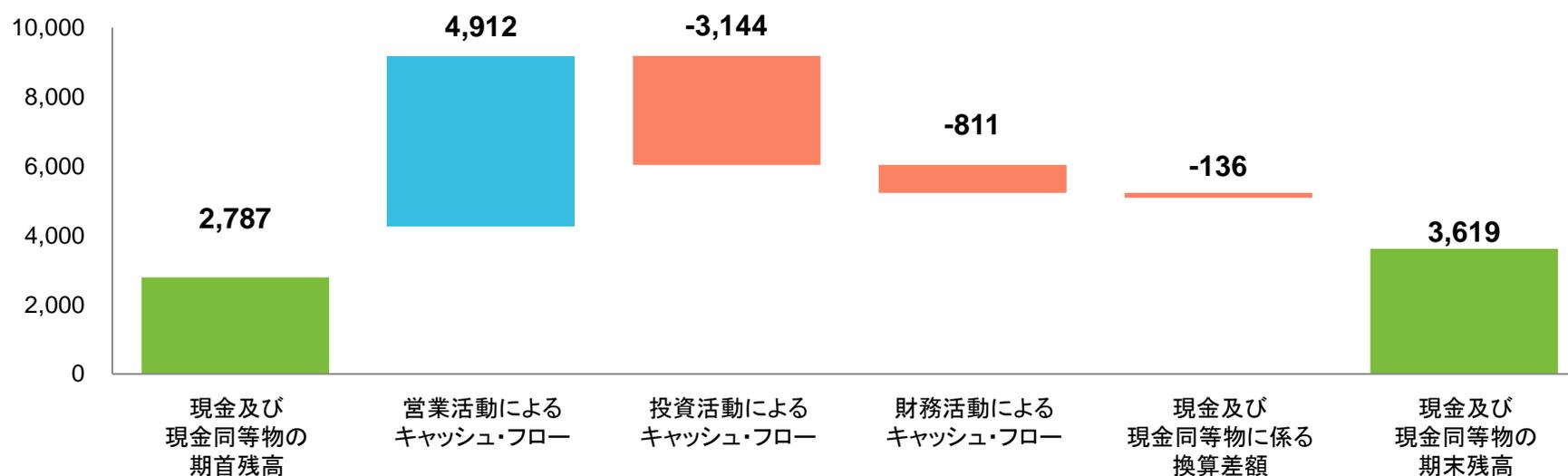
連結キャッシュ・フロー計算書

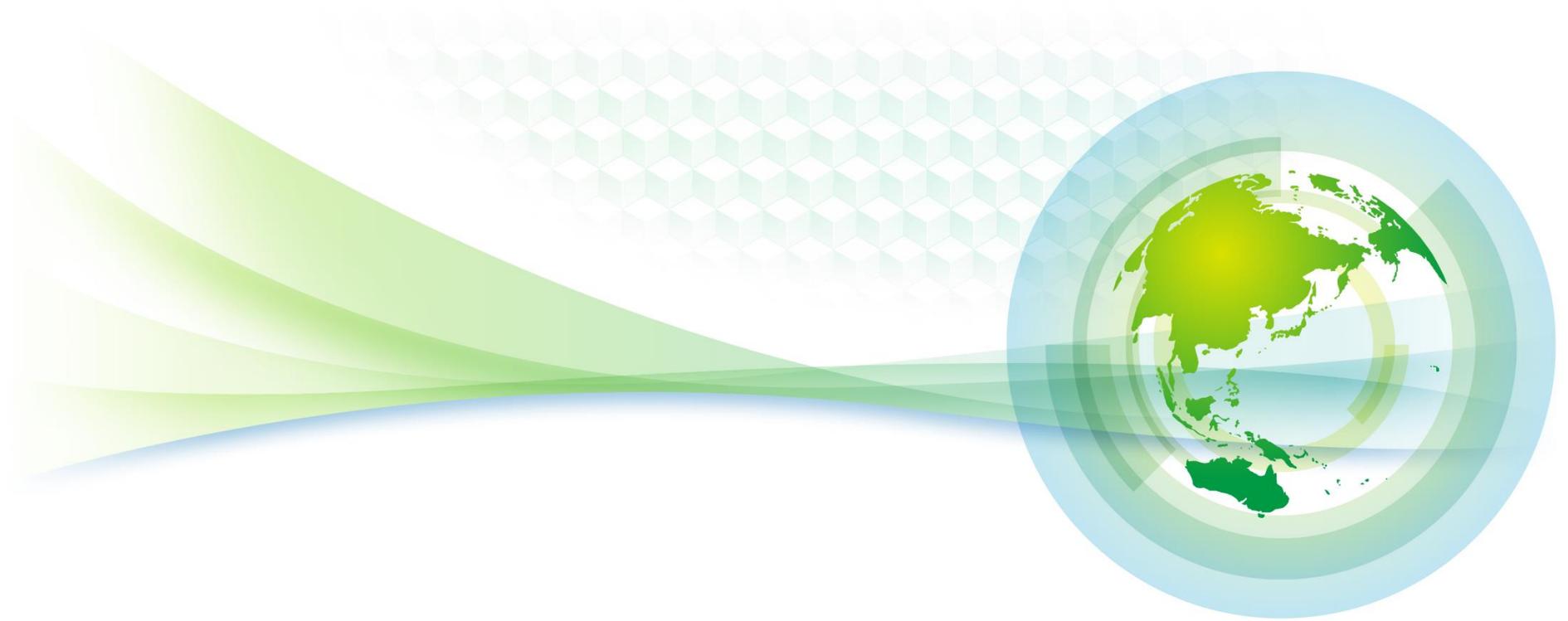


- 16/3月期末のフリーキャッシュ・フローはプラス17億円

(単位:百万円)

	15/3月期	16/3月期	前期比増減
現金及び現金同等物の期首残高	4,269	2,787	-1,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,439	4,912	2,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,836	-3,144	-308
フリーキャッシュ・フロー	-397	1,768	2,165
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1,385	-811	574
現金及び現金同等物に係る換算差額	301	-136	-437
現金及び現金同等物の期末残高	2,787	3,619	832





III.2017年3月期業績予想

連結業績予想

単位：百万円

	16/3月期		17/3月期		前期比	
	実績	構成比	実績予想	構成比	増減額	増減率
売上高	50,494	-	53,000	-	2,506	5.0%
営業利益	2,235	4.4	2,800	5.2	565	25.3%
経常利益	2,423	4.8	2,700	5.0	277	11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,191	2.4	1,400	2.6	209	17.5%
1株当たり 当期純利益	14.55円	-	17.10円	-	2.55円	-

業績予想ポイント



前期比、増収増益を計画

機能製品

ステッカー:5億円増収
(東南アジア拡販、
インド本格立ち上げ)

機能樹脂:5億円増収
(光学関連向け需要回復)

電子・光学製品

セラミック:4億円増収
(チップ抵抗器用基板
の需要回復)

反射シート:2億円増収
(CLP増販、欧州拡販)

建材

ビニフレーム工業:
5億円増収
(笠木、手摺の拡販)

増益要因

主力製品
の増販

高付加価値品
の拡販

原価率改善

不採算事業
の整理

配当予想

2017年3月期予想

	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	合計	配当性向
2017年3月期配当予想	-	0円00銭	-	2円00銭	2円00銭	11.7%
(ご参考)2016年3月期	-	0円00銭	-	2円00銭	2円00銭	13.7%

配当方針

当社は、将来の事業展開と経営環境の変化に対応できる企業にしていくとともに、株主の皆様に対する利益配分を重要な責務と考え、長期安定的な配当を実現できることを基本方針としております。



ACTIVE-2018

基本方針

増収増益を継続して達成できる企業グループを実現する

重点施策

- ① 事業所の徹底した安全の確保と製品品質の揺るぎない向上を図る
- ② 事業の選択と集中を加速し、増収増益を継続できる体質に転換する
- ③ 研究開発の効率を引き上げ、速やかな上市に着実に結びつける
- ④ 海外事業会社の体質を強化し、収益力の確保・拡大を確実に進める
- ⑤ 国内関係会社は其々の強みを伸ばし、確固たる事業基盤を築く

経営指標

売上高

600億円以上

経常利益

35億円以上

本日はありがとうございました



化学で「光る」会社を目指して

IRに関するお問い合わせ先

日本カーバイド工業株式会社 総務部

電話: 03-5462-8200

e-mail: ouji@carbide.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただきます。また、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。